

文化財庭園保存技術者協議会 会報

2008.7 第12号

編集・発行：文化財庭園保存技術者協議会（代表：玉根徳四郎）

〒600-8361 京都市下京区大宮通花屋町上ル NPOみどりのまちづくり研究所内

TEL：075-341-2600 FAX：075-361-0961

評議会連絡所：〒606-8371 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター

TEL：075-791-9018 FAX：075-791-9342

東京連絡所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-6-3福田ビル3F 文化財庭園保存技術研究センター

TEL：03-3202-5233 FAX：03-3202-5394

平成20年度総会・第1回研修会のご案内

平成20年度総会・第1回研修会を下記の通り開催いたします。平成19年度は庭園構造物管理技術を主なテーマに研修会を開催しましたが、平成20年度は小仕事技術を中心とした研修会を計画しています。今回の講演会は3名の講師をお招きし具体的な事例を交えご講演頂いた後、相国寺境内にて、京都市指定名勝の相国寺裏方丈庭園などの見学を行います。

実技技能研修では、名勝清風荘庭園にて、庭園についてのご解説を頂き、空間構成、管理方針について会員諸氏と討議しつつ、実際の庭園において技術研修会を行います。

庭園の様々な事柄について、率直な意見交換が期待できます。ふるってご参加ください。

●平成20年7月18日(金) 会場：相国寺（京都市上京区今出川烏丸東入相国寺門前町）

13：00 受付開始（相国寺方丈）

13：15 総会開会

14：00 教養研修（講演会）

講演 1：本中 眞 氏（文化庁記念物課主任調査官）

「名勝及び文化財行政に関する事項」（仮題）

講演 2：安原啓示氏（京都造形芸術大学客員教授、評議会員）

「名勝庭園の保存に関する近年の事項」（仮題）

講演 3：尼崎博正氏（京都造形芸術大学教授、評議会員）

「小仕事技術について」

15：30 実地技能研修 相国寺見学（書院、方丈（庭園）、開山塔（庭園）、法堂）

現地指導：尼崎博正氏（京都造形芸術大学教授、評議会員）

17：00 閉会

18：00 情報交換会（「平安会館」京都市上京区烏丸通上長者町上ル 参加費6,000円予定）

●平成20年7月19日(土) 会場：清風荘庭園（京都府京都市左京区田中関田町）

9：00 ～ 17：00 実技技能研修

●平成20年7月20日(日) 会場：清風荘庭園（京都府京都市左京区田中関田町）

9：00 ～ 11：00 実技技能研修

11：00 ～ 12：00 講評

12：00 閉会

☆総会会場☆

場 所 相国寺（京都市上京区今出川烏丸東入相国寺門前町）

交通機関 京都市バス「烏丸今出川」または「同志社前」、
徒歩5分

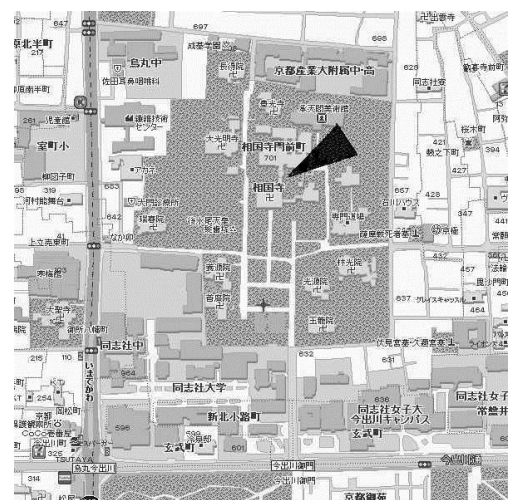
地下鉄烏丸線「今出川」下車、徒歩5分
（公共交通機関を御利用ください。）

☆研修会会場☆

7月18日 教養研修

実地技能研修：相国寺境内

7月19・20日 実技技能研修：名勝清風荘庭園



総 会 会 場

平成19年度第2回研修会開催される

平成20年1月26日(土)・27(日)、奈良県奈良市内において参加者49名で、研修会(教養研修・実地技能研修)を開催しました。その概要をご報告致します。

26日(土)、名勝依水園庭園 藤の間にて教養研修が行なわれました。はじめに本協議会玉根徳四郎代表、続いて寧楽美術館中村記久子館長にご挨拶いただき、引き続いて研修(講演会)を行いました。

最初に、奈良文化財研究所清水重敦研究員より「依水園後園の建築物」と題してご講演いただきました。京都の明治期以降に成立した別荘庭園の建築と庭園との関係と、江戸時代から近代にかけて歴史的変遷を経た依水園庭園の建築と建物との関係の違いを、図面や写真を交えて具体的にご解説いただきました。

続いて、本協議会の賛助会員でもある(株)環境事業計画研究所の吉村龍二所長より「依水園庭園修復整備事業について」と題してご講演いただきました。依水園庭園の歴史や近年の状況の



教養研修の様子



実地技能研修の様子(依水園)



実地技能研修の様子(平城宮東院庭園)

説明とともに、樹木の修復剪定・エントランス部分の整備・雨水排水対策の充実の3つを柱とした、今回の整備計画の概要をご解説いただき、東大寺旧境内の遺構を保護しながらという、やや特異な庭園整備を行うにあたってのご苦労などもご披露いただきました。

最後に、牧岡一生準会員より「依水園庭園の維持管理について」と題してご講演いただきました。平成14年度から管理を受託した当時の庭園の状況とともに、平成17・18年度に実施した樹木の強剪定などの結果、園内に光が当たり、地被も復活してきたなど、庭園整備の内容や整備による環境の変化などについてご解説いただきました。

3人の方の講演による教養研修を終え、依水園庭園を実際に見ながらの実地技能研修が行われました。龍居竹之助評議員、牧岡一生準会員などの指導により、庭園の整備状況や今後の計画などについてなど、実地に視察することができました。

翌27日(日)、前日に続いて、平城宮東院庭園、特別史跡・特別名勝平城京左京三条二坊宮跡庭園、名勝旧大乘院庭園にて実地技能研修が行われました。

最初に、平城宮東院庭園では、本協議会の事務局長補佐でもある京都造形芸術大学の仲隆裕教授より、平城京の歴史と東院庭園の変遷や庭園の整備内容についてご説明いただき、さらに、植栽樹木を決めるための手法や水処理、水位管理の方法について質疑応答を交えながらご解説いただきました。

続いて、特別史跡・特別名勝平城京左京三条二坊宮跡庭園では、奈良市教育委員会文化財課の小林広育氏より、保存から整備に至る経緯、近年の再整備計画に至る経緯をご説明いただき、さらに、本協議会の賛助会員でもある(株)環境事業計画研究所の吉村龍二所長より、当初の整備計画の概要、近年の復元庭園の状況とともに、今までの様々な学術的な知見の集積から、遺構の性格の再考が必要な時期に至って、今回の再整備計画となったことをご説明いただき、最後に尼崎博正評議員より、整備に使われた石材の材質や植栽樹種の決定までの経緯や、今度の再整備では、建築と庭園との関係に重点を置く必要があることなどをご解説いただいて後、復元庭園現地で、護岸石組や周辺の植栽の状況を視察し、今後の改善方法などについて討議が行われました。

最後に、名勝旧大乘院庭園では、本協議会の監事でもある(株)空間文化開発機構の真鍋建男所長と同社の白石建主任研究員より、名勝指定から整備に至る経緯と、指定範囲拡大後の再整備の概要について、遺構の残存状況がよくない中での整備手法のあり方などについてご説明いただき、さらに実際に施工に携わられた、上原修副代表より、汀線の礫敷の施工方法などを現場でご解説いただきました。

また、尼崎博正評議員からは、旧大乘院庭園のように、古絵図と発掘調査の成果が整合しない部分が多い場合の整備のためには、発掘調査の精度の向上も今後の重要な課題であることなどのご指摘もいただき、整備の検討手法にもいろいろな段階があり、時が変れば整備手法も変化する可能性のあるのが、名勝庭園の整備の特性ともいえるべきものであり、会員各位も今後とも研鑽に努めてほしいと総括いただき、2日間の日程を終了しました。



実地技能研修の様子
(平城京左京三条二坊宮跡庭園)



実地技能研修の様子(旧大乘院庭園)

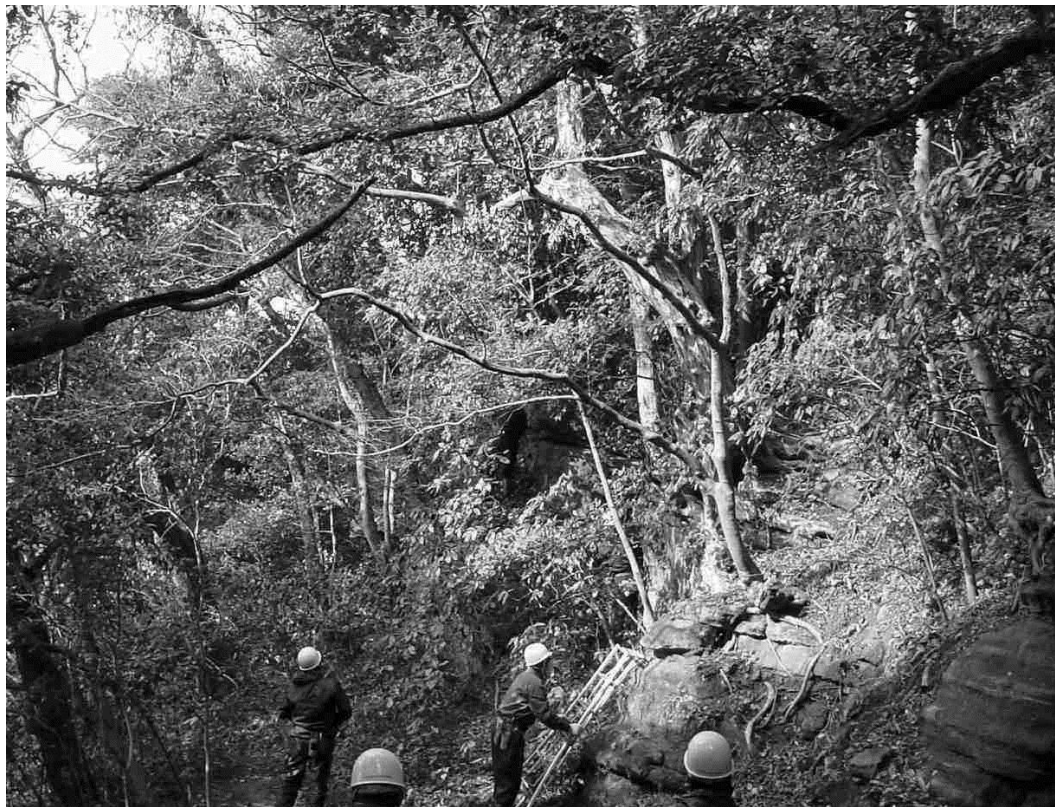
平成19年度 特別技能研修鎌倉・彦根で開催される

特別技能研修は、後継者育成事業として研修会員を対象に評議員会監修のもと正・準会員指導で技術の向上を図る研修として毎年関東と関西の2会場で開催しています。今年度は鎌倉と彦根で開催しました。その概要をご報告致します。

鎌倉研修

関東での研修は、平成20年2月16日(土)・17日(日)、廣瀬慶寛副代表の指導のもと、神奈川県鎌倉市の瑞泉寺において、参加者10名(16日8名、17日10名)で開催しました。瑞泉寺では平成17年度から続けて3回目の実施となります。

16日午前は、鎌倉市役所世界遺産登録推進担当玉林美男氏より、瑞泉寺の庭園の概要、鎌倉市の世界遺産登録に向けての取り組みについて昨年度に引き続きご講演いただきました。その後、庭園に会場を移し、昨年度の研修の成果と今回の研修方針を協議しました。



鎌倉特別技能研修の様子

16日午後から17日は、研修方針に基づき、一昨年から行なってきた偏界一覽亭に至る山道の岩肌に付着した苔や雑草、腐葉土を取り除き、空間を整備していく作業実習が進められました。岩の自然起伏からなる迫力と自然美が引き出され、空間が蘇生されていくことが実感として理解できる研修でした。

彦根研修

関西での研修は、平成20年2月10日(日)～12日(火)に、名勝玄宮・楽々園、彦根城内にて片石高幸準会員の指導のもと参加者11名で開催しました(10日7名、11日9名、12日4名)。玄宮・楽々園、彦根城内での研修は4回目となります。

10日午前は、玄宮楽々園にて実地研修が行なわれました。昨年度に引き続き片石氏より、平成12年度から行なわれてきた植栽整備の方針や管理手法についてご解説頂きました。その後、園内を回りながら整備前後の様子や本庭園の特徴についてご解説頂きました。

10日午後は、3年前から特別技能研修を実施している彦根城天守閣下のマツの剪定実習を行いました。昨年度までの作業状況と、樹形の変化による周辺景観への影響を踏まえて、今後どのような剪定管理が必要なのか討議し作業を進めました。



彦根特別技能研修の様子

11日は、玄宮楽々園入口、地震の間の東にあるマツの剪定実習を行ないました。地域性や庭園の性質に見合う姿を検討し、どの枝を抜き、どの枝を残すのか等、意見を交換しながら作業を進めました。

12日は、あいにくの雨天のため、長浜市の慶雲館庭園にて研修を行いました。小川治兵衛による作庭の意図や地域性による管理方法などについて討議しました。

平成19年度第3回研修会開催される

平成20年3月8日(土)・9日(日)に、東京都内において参加者46名で、研修会(実地技能研修会)を開催しました。その概要をご報告致します。

8日は、はじめに本協議会玉根徳四郎代表に開会のご挨拶をいただき、さらに来賓の文化庁記念物課の中島義晴文部科学技官、さらに、会場をご提供いただいた野間記念財団の金友亮常務理事、音羽建物株式会社の中山直己次長にもご挨拶をいただいて後、研修会を行いました。なお、金友常務理事からは、平成19年10月に技能技術練磨事業を行った静岡県富士川町の古谿荘庭園について、現在防災施設工事を行っていることなど、近況をご報告いただきました。

まず、田中光顕の邸宅であった蕉雨園ならびに芭蕉庵に入り、中山部長より庭園と建物の概要や造営の経緯、歴史的背景などをご説明いただいて後、まず主屋を、続いて庭園と茶室を視察しました。



実地技能研修の様子(蕉雨園)

続いて、山縣有朋の邸宅であった椿山荘(現：フォーシーズンホテル椿山荘東京)での視察では、龍居竹之助評議員より、築造の経緯や歴史的背景についてご解説いただき、続いて尼崎博正評議員より、作庭当時の社会的動向や立地条件、各所に造られた庭園の特色などを、古写真などを用いてご解説いただきながら、庭園内を視察しました。

その後、細川家の本邸であった新江戸川公園では、龍居評議員より、庭園の概要をその立地的な特徴とともにご解説いただきました。

そして、当日の最後に、江戸時代には清水家の、明治には相馬家の邸宅であった甘泉園公園では、龍居評議員より、庭園の概要や歴史的背景をご解説いただき、視察して後、現地解散となりました。

翌9日は、まず旧浜離宮庭園を視察しました。(財)東京都公園協会の大内弘部長より、庭園の管理の方針や現況についてご解説いただいて後、庭園内の各所で、龍居評議員より、修理事業の概要、浚渫や石垣修理の現状、周辺の景観が徐々に改善されていることなどをご説明いただきました。また、庭園内の「中の橋」においては、東京都東部公園緑地事務所の根来千秋係長より、歴史的な経緯や資料調査などの結果とともに、利用者の利便性にも配慮した修理の具体的な方針、工法についてご説明いただき、さらに修理工事を行われている廣瀬慶寛副代表から、「小の字島」周辺の護岸石組修理について、修理前の状況や、堆積泥をとってわかったこと、修復のための石組の手法など、護岸の具体的な修理方法についてご説明いただきました。

続いて、旧芝離宮庭園では、(財)東京都公園協会の藤田洋司センター長より、芝離宮の歴史や概要、名勝指定の経緯などについてご説明いただいて後、本協議会の賛助団体である文化財指定庭園保護協

議会の樋渡達也会長より、歴史、汐入りの庭園の特徴、地割り、地形、立地などについて、明治期の地図を利用しながらご説明いただきました。さらに、旧芝離宮恩賜庭園副センター長の兵藤由美氏より、旧芝離宮恩賜庭園の維持管理についてご説明いただきながら庭園内を視察しました。

そして、最後に各評議員より2日間を通しての講評をいただき、玉根徳四郎代表より閉会のご挨拶をいただき、2日間の日程を終了しました。



実地技能研修の様子(旧芝離宮庭園)

庭園学講座15開催について

京都造形芸術大学主催の庭園学講座14が「源氏物語と庭園」をテーマに8月29日(金)から31日(日)の3日間開催されます。先日ご案内させて頂きましたが、申し込み多数のため締め切らせていただきました。同講座の日程・内容などについての詳細は、同大学の「瓜生山エクステンションセンター」(電話：075-791-9124)へお尋ねください。

平成20年度技能技術練磨事業及び第5回文化財庭園フォーラムのご案内

岩手県、宮崎県、秋田県、静岡県と、順次開催してきました技能技術練磨事業と文化財庭園フォーラムですが、今年度は、平成20年10月17日(金)から19日(日)の3日間の日程で、大分県玖珠町での開催を予定しています。

17日は技能技術練磨事業、18日は技能技術練磨事業と技術見学会、19日はシンポジウムの予定で調整を行っています。技能技術練磨事業は本協議会会員を対象とした研修事業ですが、技術見学会とシンポジウムは自由参加ですので、本協議会の会員各位とともに、お知り合いの方々もお誘い合せの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

詳細については、確定次第、あらためてご案内させていただきます。

新規加入会員の紹介

平成20年6月末日で技能会員は105名、支援会員・賛助会員は19団体、3名となりました。ここに新規に入会された方をご紹介します。

会員種別	氏名	所属	所在
準会員補	鈴木耕喜		京都府
準会員補	香山 昭	香山緑化	栃木県
研修会員	齋藤貴吉	樋口造園(株)	京都府

会員種別	氏名	所属	所在
研修会員	木村大路	(有)景樹園	滋賀県
研修会員	加藤淳子	植丈加藤造園(株)	京都府
個人賛助会員	濱野美由紀	一級建築士事務所M.A.S.	神奈川県